

開講年度／Academic year	2023年度	開講開始学期／Start date	秋学期
授業コード／Course code	K1910	授業名／Course title	経済各論(海洋経済)/経済各論2(海洋経済)
授業区分／Course classification	講義	単位数／Credits	2単位
曜日時限／Period	水曜2限	教室／Classroom	8502教室
担当教員／Instructor	阿部 景太	科目ナンバリングコード／Subjects numbering code	ECO22910
キーワード／Keywords	ブルーエコノミー、海洋資源、海洋再生エネルギー、持続可能性		
授業の概要／Course outline	<p>ブルーエコノミー(Blue Economy, BE)とは、海洋の持続可能な利用から経済や社会全体を持続的に発展させていく概念である。海洋は生態系を支え、食料を供給するだけではなく、様々な経済的機会を提供する。OECDは世界における海洋に関連する経済規模は2030年に2010年から比較して倍増すると予測している。このように海洋経済が拡大していく中で、持続可能性を担保して社会を発展させて行く必要がある。</p> <p>この授業では、ブルーエコノミーという概念の中で特に重要なトピックに関する知識を学び、これからの課題について議論・考察する。漁業・養殖・生態系・海洋再生エネルギー・海底資源・海運といったトピックは、一見伝統的な産業に見えるが、近年のテクノロジーの進歩により、急速に発展している。一方で、社会を発展させる上で起こりうる課題を、持続可能性を念頭において考え、解決策を検討していく。</p>		
到達目標／Learning objectives	ブルーエコノミーの各分野の背景・問題・政策の基本的な知識を身につけ、必要となった場合に効果的に調査研究できる。		
授業を通して身につく能力／Abilities to be acquired in this class	○幅広い教養 ○専門的知識		
PC等デバイスの持参／Bring your own PC or other device	小テストを行うため、PC (Windows/Mac), タブレット端末やスマートフォンなど、Google Formsにアクセスできる端末が必要		
履修上の注意事項／Course guidelines			
-	授業計画／Class outline	授業外学修（予習および復習）／Preparation & review	目安時間（分）／Approx. time (min)
第1回／Class outline session 1	ガイダンス Blue Economyとはなにか？	主に授業と配布資料を復習する。 また授業内で指定する記事等を読み理解を深める。	300
第2回／Class outline session 2	水産業の問題とアプローチ	主に授業と配布資料を復習する。	300
第3回／Class outline session 3	ブルーエコノミーにおける水産業の問題	主に授業と配布資料を復習する。	300
第4回／Class outline session 4	海の生態系サービス	主に授業と配布資料を復習する。	300
第5回／Class outline session 5	養殖業と海からの食料	主に授業と配布資料を復習する。	300
第6回／Class outline session 6	海洋プラスチック汚染問題	主に授業と配布資料を復習する。	300

第7回／Class outline session 7	海洋経済の国民経済計算	主に授業と配布資料を復習する。	300
第8回／Class outline session 8	海洋再生可能エネルギー	主に授業と配布資料を復習する。	300
第9回／Class outline session 9	深海底鉱物の利用	主に授業と配布資料を復習する。	300
第10回／Class outline session 10	ブルーファイナンス：海への投資の課題と展望	主に授業と配布資料を復習する。	300
第11回／Class outline session 11	持続可能な海運	主に授業と配布資料を復習する。	300
第12回／Class outline session 12	学生によるプレゼンテーション	発表準備	300
第13回／Class outline session 13	学生によるプレゼンテーション	発表準備	300
オンラインで実施する授業の回数／Number of sessions to be conducted online	1回		
評価方法／Evaluation method			
種別／Category	割合／% (1～100)		評価基準等／Evaluation criteria
授業時間内に実施するテスト／In-class/mid-term tests	20	%	授業冒頭に10分程度のポップテストを計4回行う。  欠席や遅刻によってテストを提出しない場合は0点となるが、4回のうち最も良い2回のテストの点数のみ評価する。 （例：1回目に10点、2回目に8点、3回目を欠席し、4回目に6点だったとすると、1回目と2回目のみ評価し、小テストの成績は18点となる。）
レポート／Report	30	%	プレゼンテーションを行った内容に、発表で議論した内容を反映してレポートにまとめる。 レポートは個人で提出する。内容はプレゼンテーションに基づくので当然似通うが、個人で文章に落とし込むこと。
授業への取り組み／Effort/Participation	20	%	授業への参加態度、質問等による積極的な参加
その他 1／Other 1	30	%	プレゼンテーション：ブルーエコノミーにおける各トピックから一つ選択し、国内外での事例を最低 2 つ探して調査し紹介する。 また、各事例についてどうブルーエコノミーに資するか経済学の観点から分析・考察する。さらにその事例を一般化するためにはこういった政策が必要かを論じる。 プレゼンテーションはグループで行う。
評価方法に関する備考／Remarks for Evaluation method	ポップテストなど、不測の欠席等に対応した措置は講じているので基本的に考慮しない。（欠席連絡等は不要） 部活等で欠席が多くなることが予測されるものは事前に相談すること。		
課題等（試験やレポート等）に対するフィードバック／Feedback method	小テストは解答をすぐに公開する。 プレゼンテーションに対する質疑や議論を通してフィードバックを行う。		
教科書／Textbooks	特に指定しない		

参考書／Reference books	牧野光琢「日本の海洋保全政策 開発・利用との調和を目指して」2020、東京大学出版会
URL	
補足情報／Supplementary information	
備考／Remarks	